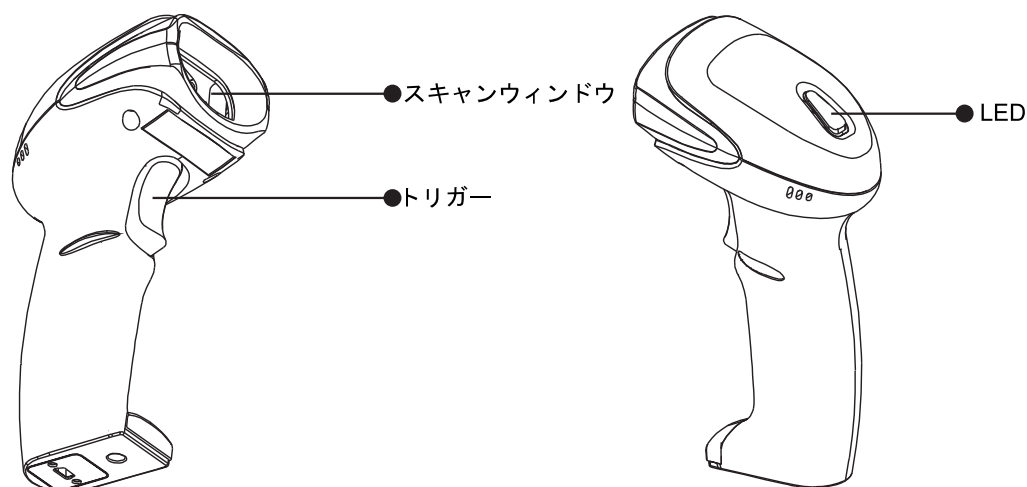


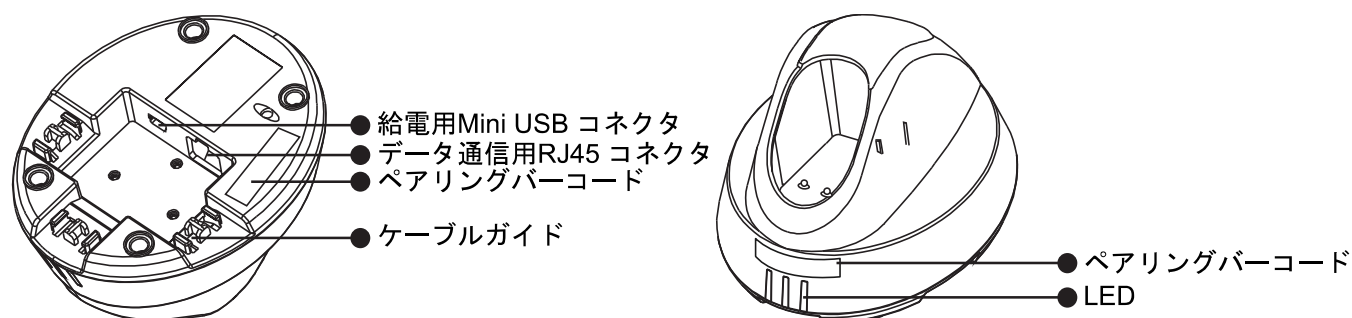
1. 各部名称とセットアップ

1.1 各部の名称

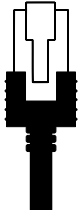
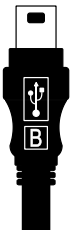
■スキャナー



■クレードル

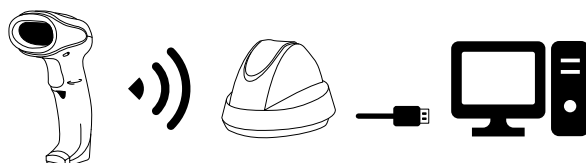


■USBケーブル

	<p><u>データ通信用ケーブル</u></p> <p>RJ45（クレードル） ⇄ USB Type-A（パソコン）</p> <p>クレードルとペアリングして使用する場合には、必ずこちらの USB ケーブルをデータ出力先のパソコンに接続してください。</p>
	<p><u>給電用ケーブル</u></p> <p>Mini USB（クレードル） ⇄ USB Type-A（パソコン or 付属アダプター）</p> <p>※給電不足による充電不足・ペアリング不良の原因となりますので、 <u>必ず給電用ケーブルを接続してご使用ください。</u></p>

1.3 クレードル接続で使用する

※「設定開始/終了」は不要です。



■ ペアリングの手順 ■

データ通信用 USB ケーブルをパソコンから抜いて、接続していない状態にしてください。



左から順番にスキャン



ペアリング初期化



BT SPP



クレードルペアリングモード



データ通信用 USB ケーブルをパソコンに接続

クレードルがペアリングモードになります



クレードルに貼付の「Pairing Code」のバーコードをスキャン

(クレードルの LED 上部 及び 底面にございます)



ビーブ音が 2 回 & スキャナーとクレードルの青 LED が点灯 したら、ペアリング成功

1.4 クレードル接続のインターフェース設定

※「設定開始/終了」は不要です。



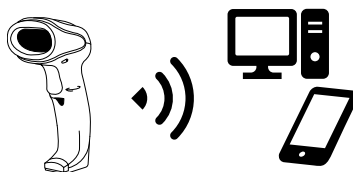
*USB-HID



USB-COM

1.5 Bluetooth-HID 接続のペアリング

※「設定開始/終了」は不要です。



■ ペアリングの手順 ■



ペアリング初期化



Bluetooth - HID



ペアリングモード

- Windows OS … 設定 → デバイス → Bluetooth とその他のデバイス → デバイスを追加
- iOS … 設定 → Bluetooth → 自分のデバイス
- Android … 設定 → 無線とネットワーク → Bluetooth → 使用可能な機器

接続する端末にて、デバイス名「Bluetooth Scanner」が表示されますので、選択して接続をします。

- ・ペアリング成功 ⇒ 「ピピッ」というビープ音が鳴ります。(LED:青 点灯)
- ・ペアリング失敗 ⇒ 「ピピピピピ」というビープ音が鳴ります。


※2 分ほど時間が経過すると、スキャナーのペアリングモードが解除されてしまいます。

(スキャナー青 LED が早い点滅⇒ゆっくり点滅)

その際はもう一度「ペアリングモード」の設定バーコードをスキャンすると、再度ペアリング可能な状態になります。

1.8 iOS キーボード表示

※「設定開始/終了」は不要です。

iOS にて全角で入力される・改行されないといった場合には、タッチキーボードの  地球儀ボタンから English(US)に切り替えてください。



iOS キーボード ON/OFF

設定バーコードのスキャンで
キーボードの表示/非表示をします



トリガー操作でキーボード表示
有効/無効

有効にすると、トリガーを素早く 2 回押すことで
キーボードの表示/非表示を操作できます。
設定バーコードのスキャンで有効/無効を切り替えます。

1.9 自動接続の時間設定

※「設定開始/終了」は不要です。

無線通信の範囲外になってしまった場合（ビープ音×4 回でお知らせ）でも、設定した時間内に通信範囲内に戻れば自動的に再接続されます。



*20 秒



1 分



5 分



10 分

1.10 スリープモード設定

※「設定開始/終了」は不要です。



無効 (スリープしない)



電源 OFF



2 分



*5 分



10 分



20 分



5. 送信データを編集する

5.1 先頭/末尾に文字を付加する（プレフィックス/サフィックス）

②

先頭（プレフィックス）
の設定



先頭 付加する



*先頭 付加しない

末尾（サフィックス）
の設定



*末尾 付加する

（初期値：すべてのコードに CR を付加）



末尾 付加しない

データフォーマット

先頭（プレフィックス）	スキャンデータ	末尾（サフィックス）
-------------	---------	------------

プレフィックス/サフィックスの設定方法

- 1) 設定開始
- 2) 「先頭 付加する」あるいは「末尾 付加する」のバーコードをスキャン
- 3) 「コード別の設定バーコード（P.53～）」から、設定したいバーコード種をスキャン
- 4) 「ASCII コード一覧（P.55～）」から、付加したい順に ASCII コードをスキャン（6 つまで付加可能）
- 5) 設定終了

プレフィックス/サフィックスを付加しない（※バーコード種別ごとでの設定はできません。）

- 1) 設定開始
- 2) 「先頭 付加しない」あるいは「末尾 付加しない」のバーコードをスキャン
- 3) 「コード別の設定バーコード（P.53～）」から、「すべてのコード」をスキャン
- 4) 設定終了

コード別の設定バーコード一覧

③



すべてのコード



UPC-A



UPC-E



EAN-13



EAN-8



Code39



Codabar/NW7



Code93



Code128/GS1-128



Interleaved 2 of 5 (ITF)



Code32



MSI



GS1 Databar
標準型・切詰型



GS1 Databar 14
二層型・標準二層型












GS1 Databar
拡張型



GS1 Databar
拡張多層型



GS1 Databar
限定型

hex	Serial (Type1)	KBW (Type2)	
17	ETB	F2	
18	CAN	F3	
19	EM	F4	
1A	SUB	F5	
1B	ESC	F6	
1C	FS	F7	
1D	GS	F8	
1E	RS	F9	④ 
1F	US	F10	

ASCII コード一覧

注意 1 : Type1 (青) で出力したい場合には、次のバーコードをスキャンしてください。

※「設定開始」「設定終了」は不要です。



Type1

注意 2 : Type2 (赤) で出力したい場合には、次のバーコードをスキャンしてください。

※「設定開始」「設定終了」は不要です。

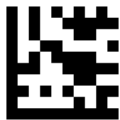
⑥



Type2

ASCII コード (制御文字)

hex	Serial (Type1)	KBW (Type2)	
00	NUL	Null	
01	SOH	Keypad Enter	
02	STX		
03	ETX	Null	
04	EOT	Null	



設定開始/設定終了

2. 基本設定

2.1 出荷時の状態に戻す



設定初期化



- 設定時に「設定開始/終了」が不要な設定項目については、「設定初期化」をしても出荷時の状態には戻りません。

2.2 バージョン情報

※「設定開始/終了」は不要です。



バージョン情報

2.3 キーボード言語

※「設定開始/終了」は不要です。



*日本



アメリカ